

平成 26 年度大阪府学力検査問題

数学 採点資料 [A選択用]

		配点	注意事項		
1	(1)	①	9	2	
		②	$3a + 5b$	2	
		③	$4xy$	2	
		④	$10\sqrt{6}$	2	
	(2)	$x =$	-7	2	
	(3)		$(3x + 8)(3x - 8)$	2	
	(4)		$5a + 2b \leq 500$	2	
	(5)		ア, ウ	2	
	(6)		$\frac{2}{5}$	2	
	(7)	①	$\frac{9}{4}$	2	
②		0	2		
③		$\frac{25}{4}$	2		
			24		

		配点	注意事項			
2	(1)	①	$\frac{7}{2}\pi$	2		
		②	20	2		
		③	$y =$	$\frac{\pi}{2}x$	2	
		④	54	3		
	(2)	⑤	16	⑥	24	4
			18			

		配点	注意事項			
3	(1)	①	$90 - 2a$ 度	2		
		②	③ AB	④ BD	2	他の表現でも内容が正しければよい。
		⑤	$10 + x$	2		
		⑥	$\frac{89}{20}$	4		
	(2)	①	(証明) △BFE と △DAE において ∠BEF = ∠DEA (対頂角) ㉞ BF // AD だから ∠BFE = ∠DAE (錯角) ㉟ ㉞, ㉟より, 2組の角がそれぞれ等しいから △BFE ≅ △DAE	5	・他の証明でも正しければよい。 ・部分点を与える。	
		②	$\frac{34}{5}$ cm	4		
					19	

		配点	注意事項		
4	(1)	①	ア, オ	2	
		②	$5\sqrt{29}$ cm ²	2	
	(2)	(求め方) I と K とを結ぶ。 ∠JIK = 90° だから JK ² = JI ² + IK ² ㉞ ∠IDK = 90° だから IK ² = ID ² + KD ² ㉟ ㉞, ㉟より JK ² = JI ² + ID ² + KD ² 四角形 CDIH は正方形だから ID = CD = 5 (cm) KC = x cm とすると KD = x + 5 (cm) よって 14 ² = 10 ² + 5 ² + (x + 5) ² これを解くと, x > 0 より x = -5 + √71	6	・求め方は, 他の内容でも正しければよい。 ・部分点を与える。	
		③	$-5 + \sqrt{71}$ cm	4	
				14	

平成 26 年度大阪府学力検査問題
数学 採点資料 [B 選択用]

	配点	注意事項
1 (1) ①	7	3
(2) ②	$x = 4, y = -2$	3
(3) ③	-13	3
(4) ④	$\frac{5}{9}$	3
(5) ①	$0 \leq y \leq \frac{8}{3}$	3
②	(求め方) B の x 座標を $t (t > 0)$ とすると $A(t, \frac{2}{3}t^2)$ AB = OC だから $C(0, -\frac{2}{3}t^2)$ 直線 AC の傾きが 3 であるから $\frac{4}{3}t = 3$ これを解くと $t = \frac{9}{4}$ (*) B の x 座標 $\frac{9}{4}$	・求め方は、他の内容でも正しければよい。 ・部分点を与える。 ・(*) において、「この t の値は問題に適している。」という記述を省略していても減点の対象とはしない。
(6) ⑤	1113	4
		23

	配点	注意事項
2 (1) ①	$\frac{7}{2}\pi$	2
(1) ②	20	2
③	$y = \frac{\pi}{2}x$	2
④	54	3
(2) ⑤	16 ⑥ 24	4
		13

	配点	注意事項
3 (1) ①	$a - b$ 度	2
②	$\frac{49}{12}$	2
(2) ①	(証明) $\triangle ADF$ と $\triangle CEF$ において $\angle AFD = \angle CFE$ (対頂角) ㉗ $\triangle ABC$ は二等辺三角形だから $\angle ABD = \angle ACD$ ㉘ $\triangle AED \cong \triangle ABD$ だから $\angle AED = \angle ABD$ ㉙ ㉘, ㉙ より $\angle ACD = \angle AED$ 2 点 C, E が直線 AD について同じ側にあつて、 $\angle ACD = \angle AED$ だから、4 点 A, D, E, C は一つの円周上にある。 よつて、同じ弧に対する円周角は等しいから $\angle DAF = \angle ECF$ ㉚ ㉗, ㉚ より、2 組の角がそれぞれ等しいから $\triangle ADF \sim \triangle CEF$	・他の証明でも正しければよい。 ・部分点を与える。
② ㉛	$\frac{147}{20}$ cm	4
㉜	$\frac{21\sqrt{22}}{11}$ cm	4
		20

	配点	注意事項
4 (1) ①	ア, オ	2
②	$5\sqrt{29}$ cm ²	2
(2) ③	(求め方) I と K とを結ぶ。 $\angle JIK = 90^\circ$ だから $JK^2 = JI^2 + IK^2$ ㉗ $\angle IDK = 90^\circ$ だから $IK^2 = ID^2 + KD^2$ ㉘ ㉗, ㉘ より $JK^2 = JI^2 + ID^2 + KD^2$ 四角形 CDIH は正方形だから $ID = CD = 5$ (cm) $KC = x$ cm とすると $KD = x + 5$ (cm) よつて $14^2 = 10^2 + 5^2 + (x + 5)^2$ これを解くと、 $x > 0$ より $x = -5 + \sqrt{71}$ $-5 + \sqrt{71}$ cm	・求め方は、他の内容でも正しければよい。 ・部分点を与える。
(3) ④	$\frac{450}{7}$ cm ³	4
		14